

MATERIALS INNOVATION

マテリアルを通じて価値を創造し、人間社会（人・社会・環境）に貢献します。

経営方針

JSRグループは、掲げている企業理念を実行するため、2つの軸により経営方針を構成しています。

一つは、持続的成長を続けるための普遍的な経営方針としての「変わらぬ経営の軸」、
もう一つは、社会の一員としての責任を表した「ステークホルダーへの責任」です。

変わらぬ経営の軸

絶え間ない事業創造

絶え間ない大きな社会ニーズの変化に対し、必要なマテリアルも変わり続けます。JSRは今ある事業に留まることはなく、常に新たな事業を創造することで、社会ニーズの実現に貢献し、持続的な成長を達成します。

企業風土の進化

変わり続ける社会ニーズへマテリアルを通じて応え続けるために、人材・組織は常に進化し続けます。自身の良き風土は維持しながらも新しいものを取り入れ、進化するエネルギーに富んだ経営と組織を築き続けます。

企業価値の増大

マテリアルを通じて事業機会を創出し、企業価値の増大を目指します。そのためには、顧客満足度の向上と社員の豊かさの向上を重視し続けます。

ステークホルダーへの責任

顧客・取引先への責任

JSRグループの全顧客・取引先に対する責任です。

- ・移り変わる時代の多様な材料ニーズに応えるため、変化への挑戦と進化を絶やしません。
- ・顧客満足の持続的な向上を目指します。
- ・全ての取引先に誠意をもって接し、常に公正・公平な取引関係を維持し続けます。
- ・サプライチェーンにおける環境・社会に配慮し続けます。

従業員への責任

JSRグループ全社員に対する責任です。

- ・社員一人ひとりは公平な基準に基づき評価されます。
- ・社員には常に挑戦する場を提供し続けます。
- ・社員にはお互いの人格と多様性を認めあい、共に活躍できる場を提供し続けます。

社会への責任

我々が生活し、働いている地域社会、
更には全世界の人間社会に対する責任です。

- ・地域社会の責任ある一員として環境・安全に配慮した事業活動（レスポンシブル・ケア）を行います。
- ・地球環境負荷低減を含めた地球環境保全のニーズに対し、環境配慮型製品を提供し続けます。
- ・製品ライフサイクル全体から発生する環境負荷の削減に努めるとともに、環境安全配慮を行います。
- ・事業活動を通して、生物多様性の保全に積極的に貢献し続けます。

株主への責任

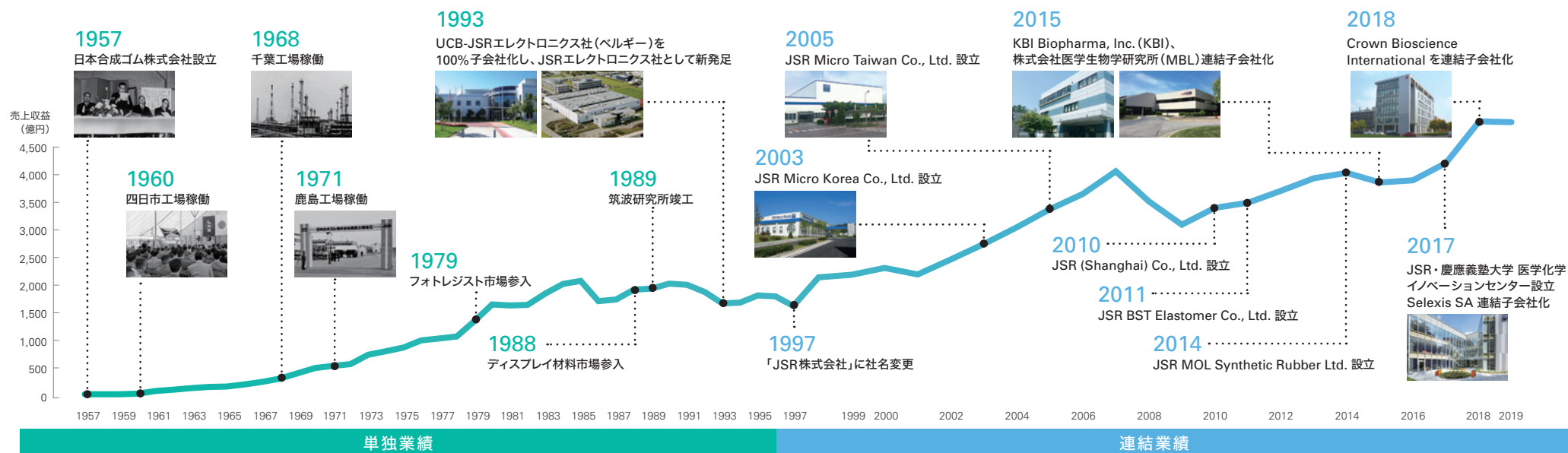
株主全体に対する責任です。

- ・マテリアルを通じて事業機会を創出し、企業価値の増大を目指します。
- ・経営効率の向上を常に行います。
- ・透明性が高く健全な企業経営を行うことにより、株主に信頼される企業となります。

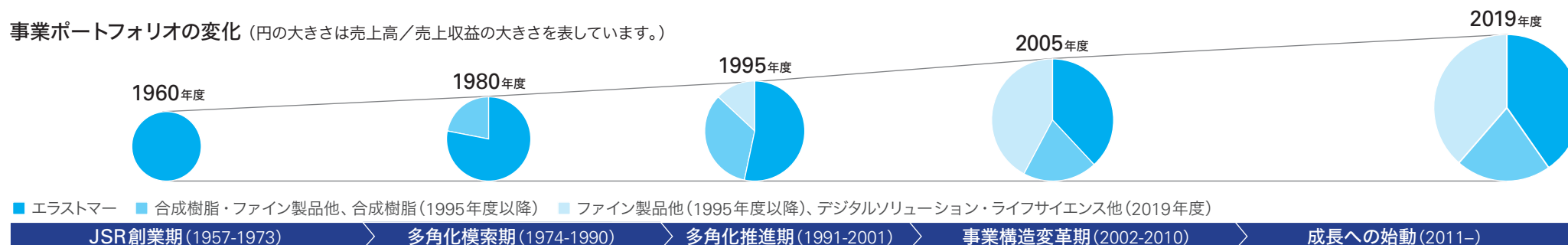
価値創造の軌跡

JSR株式会社は、1957年(昭和32年)12月に合成ゴムの国産化を目指して制定された「合成ゴム製造事業特別措置法」の施行により日本合成ゴム株式会社として設立されました。1969年(昭和44年)に民間会社へ移行し、合成ゴムからエマルジョンや合成樹脂へと石油化学系事業を展開するとともに、当社固有の高分子技術を活用して半導体材料・ディスプレイ材料・光学材料等へ業容を拡大し、情報電子材料を核としたファイン事業を推進してきました。事業内容の変革に伴い、創立40周年(1997年12月10日)を機に社名を「JSR株式会社」に変更しました。

足元では、従来のファイン事業はデジタルソリューション事業として新たな展開を図っており、第3の柱としたライフサイエンス事業はM&Aなどにより規模を拡大しています。合成樹脂事業も他社との事業統合が実現しました。各事業とも着実に課題を達成して収益の拡大につなげ、持続的成長を推進していきます。



事業ポートフォリオの変化 (円の大きさは売上高/売上収益の大きさを表しています。)



価値創造のプロセス

価値創造のための戦略

2019年度実績 (アウトプット)

社会への提供価値 (アウトカム)

JSRは顧客企業を通して社会に貢献します。

JSRが考える
マクロトレンド

地球温暖化

人口・水・食糧問題

新興国の経済成長

デジタルリゼーション

事業活動

M&A
オープン
イノベーション
生化学

INNOVATION

精密製造技術

高分子技術

マテリアルを通した
サステナブルな価値の創造

MATERIALS

ライフサイエンス事業 ▶ P.20

売上収益 **505** 億円創薬プロセス支援、および診断薬・
研究試薬の提供

デジタルソリューション事業 ▶ P.16

売上収益 **1,448** 億円最先端の半導体材料、ディスプレイ
材料等の提供

エラストマー事業 ▶ P.22

売上収益 **1,788** 億円タイヤなど自動車部材向け
ソリューションの提供

合成樹脂事業 ▶ P.24

売上収益 **951** 億円

自動車部材向け高性能ABSの提供

経営基盤

健全な財務基盤

▶ P.28

グローバルネットワーク

▶ P.29

進化する技術力

▶ P.34

環境

▶ P.36

人財

▶ P.39

コーポレート・ガバナンス

▶ P.42

コンプライアンス

▶ P.52

リスクマネジメント

▶ P.53

サプライチェーンマネジメント ▶ P.54

レジリエンス&サステナビリティ ▶ P.8

企業理念 ▶ P.2

顧客企業への
貢献顧客ニーズに応え、
ソリューションを
提供、技術革新に
貢献使用原料から提供
製品に至るまでを
考慮した、製品安
全性への貢献資源の効率的な使用
による製造プロセス
への貢献

社会への貢献

生活の質・
幸福への貢献◆ スマート(AI、IoT)
社会の実現
◆ 高速通信の実現
◆ 4K・8Kテレビの普及
◆ 快適なモビリティ
の実現健康長寿社会への
貢献◆ 創薬期間の短縮に
よる先端医薬品の
早期流通
◆ 予防医療の推進
◆ 個別化医療の推進地球環境保全への
貢献◆ タイヤの高性能化
によるエネルギー
の効率的な活用
◆ モノマテリアル化に
よる循環型社会の
実現

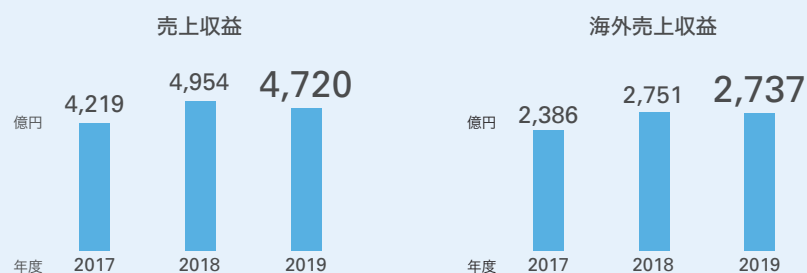
貢献するSDGs



2019年度 財務非財務ハイライト

財務情報

財務資本



営業利益
(営業利益率)

329 億円
(7.0%)

親会社の所有者に帰属する当期利益

226 億円

配当性向

57.5%

設備投資額

459 億円

ROE

5.7%

非財務情報

人的・知的資本

従業員数
(グループ連結)

9,050 人
(2020年3月末)

〈女性管理職比率〉

4.3%
(JSR単体、
2019年4月1日時点)

〈障がい者雇用率〉

2.38%
(JSR単体)

研究開発費

254 億円

※ グループ全体、
仕入品に係る受託研究費を含む

保有特許件数

6,670 件

労働災害発生件数 JSR株式会社 **1(0)**
JSR株式会社協会社社員 **0(4)**
国内グループ企業 **3(4)**
国内グループ企業協会社社員 **2(3)**

※ カッコ内は不休業災害

社会・関係資本

グローバルネットワーク

国内※ **32** 拠点 海外 **41** 拠点

※ JSR本社、主要製造施設・研究施設および
23のグループ会社を含む

自然資本

温室効果ガス排出量

973
千トン-CO₂

※ JSR株式会社、国内グループ
企業、海外グループ企業合計
値、Scope1 + Scope2

エネルギー使用量
原単位

0.38
kL/トン

※ JSR株式会社のみの数値、
国内グループ企業は0.18、
海外グループ企業は0.48

※ 2017年度から、会社計算規則第120条第1項の規則により国際会計基準(IFRS)に準拠して連結計算書類を作成しています。

※ 2018年度、2019年度は継続事業の合計金額を表示しています。